

JPBA トーナメント規定 2020年

- 一、日本プロ・ポケットビリヤード連盟規約（以下連盟規約と言う）第6条（2）項「試合」に関して
- 1、連盟員は公式トーナメントへの出場は自由とするが、出来る限りトーナメントへ参加をすること。
 - 2、トーナメントは案内書又は大会要項をもって連絡される。
（JPBA ホームページで代用する事もある）
 - 3、トーナメントの出欠は決められた日までにトーナメントごとに定められた方法で各事務局に連絡しなければならない。
 - 4、トーナメント開催日までの月会費が支払われていなければトーナメントには参加できない。
 - 5、トーナメントにエントリー確定後、やむなくトーナメントを欠席することになった者は、トーナメント前日までに事務局に必ず理由を添えて連絡しなければならない。
この場合エントリーフィーは支払わなければならない。
エントリー確定とはエントリー締切日とする。海外トーナメント参戦との重複時は特例としてトーナメント組み合わせ抽選時までキャンセルを受け付ける。
 - 6、トーナメント当日、受付終了時間までに試合会場内で受付もしくは来場確認を済ませていない者は不戦敗とする。その際もエントリーフィーは支払わなければならない。
ダブルイリミネーション試合の場合は、敗者から出場ができる。
試合開始時間とは自分の試合開始時間ではなく、トーナメントの試合開始時間を指す。
W/E の試合で両選手共に受付終了時間に遅刻した場合は抽選を行ない、1名が1回戦敗退の敗者、もう1名が2回戦敗退の敗者とする。
公共交通機関（電車・バス）の遅れによる遅刻は、受付終了時間から30分までは出場を認める。
自家用車などでの道路の遅れによる遅刻に関しては、受付終了時間を過ぎれば遅刻とする。
遅刻及び不戦敗の最終判断は会場責任者が行なう。
受付終了時間に遅れて不戦敗となった場合でも、試合会場には来場しなければならない。会場に来場しない場合は、罰金¥10,000を支払わなければならない。病気やケガ、身内の不幸等の場合には、後日、証明書（診断書・会葬礼状）等を提示すれば罰金は発生しない。
罰金に関しての最終判断は、各試合の主管開催支部にて支部長が行う。
 - 7、トーナメントにエントリー確定後、無断でトーナメントを欠場した場合はエントリーフィーの他に罰金¥20,000を支払わなければならない。
 - 8、罰金は通知を受けた日から1ヶ月以内に支払わなければならない。
 - 9、エントリーフィーを支払った者はランキングポイントの対象者となる。
 - 10、所属支部でのトーナメント開催時に帰宅する場合は会場責任者に了解を取ること。
会場責任者の了解を取らずに帰宅した場合には、1回目は嚴重注意とし、1年以内に2回目の違反があった場合は、罰金1万円を支払わなければならない。
会場、試合によっては変更する場合もある。
 - 11、トーナメントはレフリースタッフを採用する場合がある。レフリースタッフは必要に応じて大会担当者が指名する。
指名された者はプロとしての自覚を持って公正で明快なジャッジをしなければならない。
 - 12、レフリースタッフを指名された者は正当な理由なく、断ることは出来ない。
 - 13、試合終了まで会場内では服装を乱さないこと。
 - 14、試合中の外出（食事を含む）は、会場責任者に確認を取り、一時間を超えないこと。
 - 15、オープン戦のアマチュア出場資格
JPBA がトーナメントでプレーをするに相応しいと判断するものに参加を認める。
※ 反社会的な者の出場は認めない。

二、連盟規約第34条第2項「規約に基づく規則の整備」に関し

- 1、世界選手権及びアジア選手権の補助金 2013年改訂
男子・女子とも1位は規定の全額、2位は80%・3位は60%とする。
※ 上記はいずれも全日本統一ランキングを使用する。
※ 使用するランキングの試合数が全国ポイント対象8試合、ブロック別ポイント4試合に満たない場合は不足試合数を遡ってポイント加算する。「遡った試合の期間に行われた海外試合のポイント（国内重複試合ポイント、報奨ポイント）もポイント加算する」
※ 試合によってはランキングに係わらず、出場した会員全員を対象に補助金を支払う事がある。
※ 但し、上記トーナメントが日本国内で開催される場合はこの限りではない。
※ 国際大会の出場はすべて大会決勝戦開催日の2カ月前ランキングの全日本統一ランキングポイント順とする。例 決勝戦が10月1日の場合は8月ランキング（8月末までの集計ポイント）

を使用し、決勝戦が9月30日の場合は7月ランキング（7月末までの集計ポイント）を使用する。

大会主催者から決勝戦開催日の2か月前ランキングを使用する事が出来ない、早めの代表選手選考を求められた場合はその時点で発表されている最新のランキングを使用する。翌月以降に追加の代表選手選考があった場合はその時点で2か月前ランキングを使用する事が出来れば2か月前ランキングを使用し、使用出来ない場合はその時点で発表されている最新のランキングを使用する。2016年改訂14-1世界選手権はこの限りではない。

又、主催国及び主催者が選手を指名する場合もこの限りではない。

派遣される選手の日程と国内ランキング対象試合が重なった時は、派遣選手は該当試合のポイントを保証する。（別表参照）2017年改訂

※WPAランキングによるシードの場合、上位1名に3位相当の60%を保証し補助する。2013年改訂
2、国内補助金は次に掲げるトーナメントに本部会計より支部を通し決められた額を支払う。

- ① 全日本選手権・ジャパンオープンは支部を跨ぐ数×¥3,000を参加プロ選手に補助 2013年改訂
- ② その他理事会が承認したトーナメント

三、連盟規約第44条第2項「服装」に関して

運営責任者より注意を受け、改まらない場合、第18条に記載する連盟規約に則り、ペナルティの対象となる。

服装コードに違反している選手は試合に出場出来ない。服装コードに違反していても初戦のみ出場を認める場合がある。その際は2回戦目までに正しい服装コードに準じるように着替えなければならない。

服装コード違反の最終判断は会場責任者が行なう。

男子 服装コード	ジャケット	JPBA ワッペン	ベスト	タイ	シャツ		ズボン		ベルト 色	靴 色、素材、種類	靴下
					形	色	形	色			
Aコード	黒色 エンブレム取付	・両腕を除く、上半身の前面に取り付ける。 ・三角タイプ、四角タイプのいずれかを取り付ける。	ベスト着用 (ニット素材不可) カマーバンド可	着用	・長袖のカッターシャツ 開襟シャツ及び半袖は不可 ・大きく胸元を開ける事は不可	・単色 ・柄入りは不可	スラックス	黒単色	黒単色	・黒単色の革靴、レザースニーカー (目立つフワポイント等は不可) ・ソールも黒単色	黒単色 (スニーカーソックス不可)
Bコード	規定無し エンブレム取付ジャケット着用を推奨			着用	・カッターシャツ(半袖可) 開襟シャツは不可 ・大きく襟元を開ける事は不可	規定無し (派手な柄物は不可)	スラックス	黒単色	黒単色		黒単色 (スニーカーソックス不可)
Cコード	規定無し		規定無し	規定無し	襟付きシャツ (半袖・ポロシャツ可)	規定無し (派手な柄物は不可)	スラックス (綿パン可)	黒単色	黒単色		着用 (色形は規定無し)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・Cコードではポロシャツ等の着丈の長さが股上にある場合はスラックスに入れなくても良い。 ・大会スポンサーによるユニフォーム着用、ワッペン取付の指定があった場合は必ず着用及び取り付ける。 ・帽子、マスクの着用は禁止とする。体調不良等でマスク着用をする際は会場責任者の了承を得る。 										

女子	ジャケット	JPBA ワッペン	ベスト	タイ	トップス	ボトムス		ベルト	靴	靴 下・ス トッキ ング
						素材	色			
Aコード	着用 エンブレ ム取付	・両腕を除く、上半身の前面に取り付ける。 ・三角タイプ、四角タイプのいずれかを取り付ける。	規定無し (着用可)	規定無し (着用可)	・ニット以外の華やかなもの ・シャツ可 ・襟無し可	綿・デニム素材・レギンス不可	黒単色	規定無し (着用可)	・黒の革靴(紐靴不可)、パンプス ・ソールも黒	規定無し
Bコード					・Aコードに記載のある物 ・ニット可(ラメやビジュアのついた華やかな物、もしくはそれと組み合わせた着用が好ましい) ・編み目の荒いニット(ゲージ数値 6.5 以下)は不可(ゲージ数値については別資料参照のこと)	・綿・デニム素材・レギンス不可 ・スカート・ワンピースは膝丈下可	色・柄物可		・黒の革靴、パンプス ・パンツと同色の革素材の靴(靴に多少のラインやマーク可)	
Cコード					・A・Bコードに記載してある物 ・スポーツシャツ・ポロシャツ可		・A・Bコードに記載のある物 ・革素材のスニーカー可 ・紐靴可			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのドレスコードにおいて、セーター、タートルネックセーター、カジュアルニット類、Tシャツ、トレーナーは不可。 ・ベルトループのあるボトムスには必ずフォーマルなベルト着用とする。 ・サンダルはバックストラップのない物(ミュール等)不可。革素材以外のスニーカー禁止。 ・大会スポンサーによるユニフォーム着用、ワッペン取付の指定があった場合は必ず着用及び取り付ける。 ・帽子、マスクの着用は禁止とする。体調不良等でマスク着用をする際は会場責任者の了承を得る。 ・自分で判断しかねる場合はあらかじめ写真等で理事に判断をおおぐこと。 									

四、連盟規約 第 44 条 2.「競技会」に関して

- 1、ハンディ戦で男女混合の試合の場合、女子プロのハンディは男子アマ最高ハンディと同等とする。
- 2、ハンディ戦はランキングポイントの対象外とする。(対象とするかの可否は理事会で決定する)
- 3、年度当初に予定されていた試合数が、半数以下の開催となった場合、その年の年間表彰は行わず、翌年以降のランキング表彰ポイントに加算する。

五、 1、JPBA 主催、主管以外のトーナメントは JPBA が公認をする。

公認していないトーナメントに事務局に届け出及び確認する事なく出場した際は、そのトーナメントで獲得した賞金は全額没収し、更に、一回目は¥50,000 の罰金、二度目は出場停止と罰金¥100,000 (出場停止期間については理事会で決定する)、三度目となる者は除名処分とする。

WPA、APBU が公認したトーナメントに於いてはこの限りではない。

2、NBA 及びアマチュア連盟 (JAPA) の主催するトーナメントへの出場は自由とする。

ただし、事前に出場できるか否かを所属する事務局に問い合わせること。

3、優勝賞金が 10 万円未満のトーナメントには、各支部へ届出がなくても出場は自由とする。

優勝賞金が 10 万円以上のトーナメントに出場する時には、各支部事務局に報告義務がある。

優勝賞金が 10 万円以上のトーナメント (ハウストーナメントを含む) で、Aクラス以上のアマチュアプレーヤーとダブルハンディのトーナメントには、会員の出場は認めない。出場した場合は、罰金対象となる。※ダブルハンディとは「ラック数」と「エントリーフィー」の両方を指す。

(B と女子クラス以下は除く)

プロの参加人数は 16 名 (女子含む) までと限定し、開催店舗にはプロの参加リストを提出して頂き、出場プロの選定はトーナメント開催店舗に一任する。

JPBA 主管主催のトーナメントは、開催地区支部の事務局より会員にトーナメント開催の告知を行う。

上記と異なる条件のトーナメントは、理事会で協議の上、参加可否を決定する。

六、 1、公認料は廃止する。これは現状から JPBA が公認料を求めるより、JPBA に相談してもらい、JPBA が認定するか否かを決定する事の方を重要と考える理由。

- 2、公認を求める大会企画者は地域の支部長と協議のうえ、要項を決定下さるよう依頼する。

七、連盟規約 第 14 条全般「各種届け出」に関し会員には各種届け出での義務があります。

次の項目に該当する場合には速やかに届け出て下さい。

- ①ビリヤード場勤務届、コーチ契約届
 - ②メーカー及び業者との契約、及び契約解除届
 - ③海外トーナメント出場届
 - ④海外トーナメント結果報告
 - ⑤エキジビション届
 - ⑥テレビ、ラジオ出演届
 - ⑦雑誌掲載、原稿出稿届 などメールでの報告・連絡も可とする。
- 届出の必要がある場合は必ず事務局に届出すること、届出を怠った場合にはペナルティがあります。

八、連盟規約 第 15 条 休会規定の改定

女子の産休は届け出より 1 年間とする。

ただし、その後「育児理由」による延長の申し出は支部事務局へ届け出があれば「1 年間」の延長を認めるものとする。

九、連盟規約 第 17 条 「プロ復帰条件の一部改訂」

自主退会したプロ会員が復帰を求めた場合、理事会にて審議を経て「プロテスト」免除。

入会金などの規定事項は変更しない。退会理由が会費滞納である場合、事前に解消した上で理事会審議するものとする。

十、今般のインターネットの普及により、会員はメールアドレスの事務局への届け出を義務化し、文書以外、メール配信も受けて情報交流してゆくものとする。

注意：自宅住所・所属店・電話番号・メールアドレスなどの変更は速やかに所属支部事務局へ連絡すること。

JPBA トーナメント規定 追加文書 「禁煙規定」

06 年 1 月より下記の通り、禁煙規定を設け「社会通念上常識範囲」を導入。

プロ選手としての「観客優先姿勢」実現のひとつとするものである。

- ① 06 年 1 月より JPBA 主催試合の会場では、運営席を含めた場内禁煙を実施することとする。
- ② その場合、トーナメント管理責任者は「試合会場の外に一ヶ所以上の喫煙コーナーを設けること。会場店舗側との交渉を行い、奇異とならないような設営を行うよう事前準備する。」
- ② 会場となった店舗で飲食スペースの営業の妨げになるような場合は、その店舗の希望に沿った「喫煙可能場所」を特定し、掲示して観客誘導を行う。

以上を規定し、各支部が主管する大会の抽選活動の場などで、毎回打合せし当日混乱のない試合運営を行うよう留意義務を持つこととする。

JPBA プロ選手 男子 女子に求められる「喫煙マナー」

昨今「喫煙マナー」について、さまざまな形で社会現象化しています。

実際、愛煙家にとってはいろいろと配慮せざるを得ない状況です。

神奈川県のように「県内施設禁煙条例」が今後も都道府県で増加していくことと思われます。

そのような時代を迎えて、私たち JPBA プロ選手は「喫煙マナー」について考慮すべき時期となっています。

- ① ファンのいる場所での喫煙はしない。
- ② 試合会場では喫煙スペースがあっても極力、喫煙を控える。運営席では禁煙とする。
- ③ プライベートであっても、煙草を手にした時、周囲の状況を客観的に見る。
などの配慮を選手各位に求めます。

会員各位は必ず規約、細則、トーナメント規定を読んで内容を把握してください。

1998 年 1 月 1 日制定、2002 年 1 月 1 日改訂、2002 年 11 月 11 日一部改訂

2003 年 12 月 8 日一部改訂、2009 年 7 月 2 日一部補足

2013 年 3 月 1 日 改訂 服装規定 産休規定 喫煙規定などの追加

2014 年 10 月 1 日 一部改訂、2016 年 3 月 12 日 一部改訂及び補足

2017 年 3 月 24 日 一部改訂及び補足

2019 年 3 月 24 日 一部改訂及び補足

2020 年 10 月 1 日 一部補足

2020 年 12 月 1 日 一部補足